

神戸学生青年センター センターニュース

KOBE STUDENT YOUTH CENTER NEWS No.113

No.113

発行所 (公財)神戸学生青年センター
理事長 飛田 雄一
館長 朴 淳用
〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22
TEL (078)891-3018 FAX (078)891-3019
Yahata-cho 4-9-22, Nada-ku
Kobe, 657-0051 Japan
E-mail: info@ksyc.jp
U R L https://ksyc.jp

朝鮮語・韓国語初級講座の 生徒として



坪谷 令子 (画家)



講座の様子

語学講座の生徒は、年齢も背景も動機も目的も様々…だからそれは、小さくても「ひとつの社会」なのです。私が通っているのはハンゲルの初級クラスです。

通い始めて2年半近く…申し訳ないほどにデキの悪い生徒なのですが、それでもメゲルことなく出席しているのは「楽しいから」に尽きます。韓流ドラマを観ることもない私がハンゲル講座を受けることになった…それは、コロナ禍が始まって暫くした頃でした。

その前年の秋、私は友人たちと韓国へ行こうとしていました。韓国で出版社を営むチョ・ジェウン(조재은)さんに誘っていただいたのです。チョさんは、児童文学作家・灰谷健次郎さんの翻訳本を出して来られました。毎夏、教師や学生さんたちのツアーを組んで神戸に来られ、小説『太陽の子』の舞台である兵庫区の下町を巡り、沖縄を訪れていました。韓国版『手と目と声と』『天の瞳』に私の絵が添えられていることもあって、2006年に灰谷先生が亡くなった後も交流は続き、北鈴蘭台の「太陽の子保育園」にお迎えしたりしていました。

ところがコロナ禍で出国できない事態に。でも、いつか行けるようになるのだから、それまでの間にハンゲルを習っておこうなどと思ってしまったのです。

ハンゲルは文字数も少ないし、日本語の語順と同じ「私は〇〇します」のカタチだし、発音の似ている言葉も多いし(例えば「カムサハムニダ」の「カムサ」は「感謝」)…と当初、そんな甘い考えを抱いていたのです。

思えば、何十年前前に何度か韓国を訪れたころには、街中の看板の文字は「カギ穴」にしか見えていませんでした。ハンゲル文字は「子音+母音」が基本で「子音+母音+子音(パッチム)」の組み合わせもあります

が、日本語に比べたらシンプルです。それでも文字の並びに変化が生じ、読み方も含めて例外がイッパイ。

数百年前に民衆のために作り上げられたハンゲル文字に、こんなに多くの「例外(=複雑さ)」は要らないのにと訴える度に尹智香先生は笑いながら「あなた方に言われたくないですよ〜。日本語は文字数も含めて、どれだけタイヘンか」と返されて、そこで皆で爆笑…その度に笑われてしまう私です。

語学は単に用を足すためのものではないのです。先月、ギャラリー島田で私の個展が開かれた折り、上階のスペースでは韓国の女性作家たちMIND BINDによるブックアート展が。そこで交わされたのは「笑顔」であり「心」でした。まずは、そこから…そのことを、今更ながらに実感させていただきました。

学ぶとは、多くの知らない事物があるのを自覚させられることなのではないでしょうか。語学を通して歴史や関係を深く知ろうとし、人間を愛おしく感じる…求められているのはそんな姿勢で、だから「この教室(=社会)」は温かいのです。

灰谷先生の最後のエッセー集『子どもへの恋文』にある言葉「いのちは競わせるものではなく、いのちは慈しみ合うもの」…この想いに励まされながら学べるのが私にとって講座に通う楽しさの元なのです、きっと。

センターの朝鮮語・韓国語講座は火曜日(よる初級)・木曜日(上級)・金曜日(ひる初級・応用クラス)に開講しています。どれも少人数でアットホームな講座です。ふるってのご参加お待ちしております。

はんてんの会・徐翠珍さん講演会

はんてんの会は、兵庫反天皇制連続講座のこと。徐さんが「在日中国人と天皇制—大阪で「公務員国籍差別廃止」「指紋押捺拒否」「大赦拒否訴訟」や「靖国合祀イヤです訴訟」を闘って」がテーマでした。講演に先立って徐さんのドキュメンタリー「1985年花であること」(監督 金成日 2010)が上映されました。センターと共催の講座です。徐さんは、徐翠珍さんは1947年、神戸に生まれの華僑二世で、中華同文学校卒業です。保母として働いた大阪西成の私立保育所が公立に移管することになって「国籍条項」のため解雇されますが、地域ぐるみの闘いが勝利し、職場復帰しました。先駆的な闘いでした。「華僑二世徐翠珍的在日—その抵抗の軌跡から見える日本の姿」(東方出版、2020)の著書があります。

朝鮮史セミナー・斎藤真理子さん

「82年生まれ、キム・ジヨン」など多くの韓国文学を翻訳されている斎藤真理子さん。テーマは「趙世熙『こびとが打ち上げた小さなボール』との出会い」。斎藤さんは、趙世熙の作品を新たに「こびとが打ち上げた小さなボール」(河出書房、2016)として翻訳出版されました。本年7月には、更に河出書房の文庫本として発行されました。むくげの会が出版した『趙世熙 小品集—こびとが打ち上げた小さな玉—』(1982)の縁で、むくげの会とセンターとの共催講演会となりました。斎藤さんのファンも多く参加され、講演会終了後には、サインを求める行列ができました。懇親会も含めて充実したセミナーでした。



10.17 斎藤真理子さん

林賢宜さんの韓国料理教室

9月は貝柱とカニ入りのえび煎、湯スープ、10月はキムパッ、卵スープ、11月は野菜とえびのえごまドレッシング和え、牛肉入り大根スープを学びました。毎回10名程度参加されますが、10月のキムパッの回は早い時期から予約でいっぱいとなりました。先生が巻くと具材が真ん中に入るととてもきれいなのに、自分が巻くと端によってしまつてと言いつつも、みなさんきれいに巻いておられました。冬のメニューも楽しみです。みなさんのご参加お待ちしております。



10.7 キムパッ

外国人のための「生活の漢字」教室

一般財団法人ダイバーシティ研究所主催、全4回講座(11/10~12/1)を開催しました。ルーツも日本語学習歴もさまざまな10名程の学習者が参加されました。今回の講座は生活でよく使う漢字を学ぶというもの。カレンダーやゴミステーションに貼ってある看板など、身近なものを題材にして漢字の読み書きをみなさん熱心に学習されていました。



11.10 生活の漢字学習の様子

六甲奨学基金チャリティ天野郡壽陶芸作品展

本館ロビーにて10/23~30開催しました。小皿・大皿、抹茶茶碗など合計84点の作品が並び、見ているだけでも楽しい気持ちになる一週間でした。今回の売上は17,100円となり、すべて六甲奨学基金の活動へ寄付いただきました。天野さん、来館くださった皆様ご協力いただきましてありがとうございました。



10.26 天野郡壽さんと作品

高作先生と学ぶ会

11月18日は「辺野古訴訟・最高裁判決の批判的検討」がテーマ。沖縄県民の意志を無視した日本政府の暴挙、そして最高裁判決。高作正博さんは、辺野古の状況、沖縄県の主張、国による「関与」と地方自治の柱をたてて最高裁判決の問題点を指摘されました。12月9日のテーマは、「技術の進歩に脅かされるプライバシー」。来年度も憲法勉強会は続きます。ふるってご参加ください。



11.18 高作正博さん

「ワタシたちハニンゲンダ！」映画会

高賛侑監督の作品です。案内に、外国人学校に対する官製ヘイト、技能実習生、難民、入管の分態など外国人差別の本質にせまる、とありました。迫力ある作品です。NGO神戸外国人救援ネットと神戸NGO協議会の共催プログラム。この協議会は、神戸YMCA、神戸YWCA、PHD協会、賀川記念館、神戸学生青年センターが参加するネットワークで、故・草刈賢一さんの発案によるものです。定期的に情報交換をしています。



会議室A(本館ウエスト100)

会議に...ゼミ・会議・講演会に

<1時間以上30分単位でご利用いただけます>

ご予約は6か月前より
☎078-891-3018

会場利用料金(1時間ごと)



スタジオB(ノース10)

■ウエスト100(本館)

部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
ホール(2F)	60名	90㎡	2,200円	1,760円
会議室A(1F)	36名	60㎡	1,650円	1,320円
サロン室(1F)	20名	40㎡	1,650円	1,320円
会議室B(4F)	18名	25㎡	1,100円	880円
和室(4F)	12名	20㎡	1,100円	880円
会議室C(4F)	4名	8㎡	550円	440円

※ホール：グランドピアノ3,300円/回
会議室A：グランドピアノ2,200円/回
プロジェクト—2,200円、マイク550円/本

■ノース10(北館)

部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
スタジオA	24名	35㎡	1,650円	1,320円
スタジオB	24名	30㎡	1,375円	1,100円
スタジオC	12名	20㎡	1,100円	880円

※スタジオA：アップライトピアノ1,100円/回、プロジェクト—2,200円

- 準備、あとかたづけを含め、すべて利用時間内に行ってください。
- キャンセルをされる場合は必ずご連絡をお願いいたします。
- 連絡なく利用されなかった場合は利用料の100%、当日キャンセル80%、前日のキャンセル50%、前々日までのキャンセル無料です。
- 当館には駐車場がございません。ご了承ください。

事務所はウエスト100(本館)



ウエスト100 〒657-0051
神戸市灘区八幡町4丁目9-22

ノース10 〒657-0065
神戸市灘区島山町3丁目3-1 六甲駅前ビル4F

- 阪急六甲より徒歩1分
- JR六甲道より徒歩10分

食料環境セミナー

9月は元農林水産大臣の山田正彦さんより、タネを守ることの大切さについて現在の国内状況を色んな事例とともに説明して頂き、各都道府県に広がっている種子条例制定運動についても説明して頂きました。それから、世界の流れとなっているオーガニックを日本でも広げるために学校給食無償化と、全国オーガニック給食協議会の設立と関連運動について多様な資料を用いて説明して頂きました。10月は丹南有機農業実践会の酒井菊代さんより、45年にわたった有機農業実践について楽しくお話しして頂きました。代々続く家族経営農家で生まれ育ち、今も農家として生活する上で経験した多様な物語について参加者の皆さんにとっても楽しく笑顔で話して頂きました。11月はIFOAM-ORGANICS ASIA理事を務めている福井佑実子さんより、今年6月にフィリピンで開催されたオーガニックアジア会議の様子を色んな写真資料を用いて説明して頂きました。IFOAMの組織構成や役割についても詳しく教えてくださいました。それに加えて世界のオーガニック現状とともに日本の有機農業現状についても説明して頂きました。



9.16 山田正彦さん 10.21 酒井菊代さん 11.18 福井佑実子さん

農塾

9月は小林尚子さんより、テンペの魅力について紹介して頂きました。発酵食品×植物性たんぱく質であるテンペの魅力や色んなレシピとともに紹介して頂き、色んなテンペの試食や販売と、テンペ作り方まで教えて頂きました。10月は葛ソムリエの吉岡のぶみさんより、葛の効用を中心に現在日本の葛の栽培や流通状況について説明して頂きました。自家栽培の三年番茶の効用についても説明して頂き、透明感が美しい和菓子である葛まんじゅうを参加者の皆さんとともに作って、梅しよ油番茶といっしょに試食する時間をもちました。11月はナチュラルリズムファームの大皿一寿さんより、有機農業の道を選択した理由とともに現在CSAを利用して有機農業に関心を持つ人々を増やすための活動や販売経路を開拓するための工夫について説明して頂きました。神戸市ネクストファーマー制度や有機農業スクール、有機農業生産者の仲間とともに「あいな里山公園」での取り組みなどについて説明して頂きました。農塾にてお話し頂いたみなさん、ありがとうございます。



9.2 小林尚子さん 10.7 吉岡のぶみさん 11.4 大皿一寿さん

土曜ティーサロン

9月は「4ヶ国の旅人」ソルベイ・カリナ・ノードウォールさん(画家)、10月は「ペルーの歩き方」日比野純一さん(NPO法人エフエムわいわい理事)、11月は「ミャンマーの歩き方」KHIN YADANAR MONさん(2023年度六甲奨学金基金奨学生・大手前大学)がお話しして下さいました。ありがとうございます。土曜ティーサロンは第1土曜日の午後2時から、海外の楽しいお話を聞くひととき。是非ご参加下さい。講師も募集中です。



土曜サロン9月 ソルベイ・カリナ・ノードウォールさん 土曜サロン10月 日比野純一さん 土曜サロン11月 KHIN YADANAR MONさん

セミナー「関東大震災から100年を迎えて」

明石・伊丹「ろう史と手話」研究会代表の藤井裕行さんにご講演いただきました。タイトルは、「知られざる「悲しみと怒りの手話」～自警団によって惨殺された「ろう者」たち」。関東大震災時、ろう者が殺害された歴史です。藤井さんがその事実を資料、聞き書きをもとに明らかにされました。セミナーの内容は、『歴史の闇に葬られた手話と口話 関東大震災下で起きた「ろう者」惨殺の史実を追う』(センター出版部、B5、56頁、660円、2023.11)として出版されました。アマゾンでも購入可能です。もちろんセンターでも購入可。センターより郵送のときは送料250円をお願いします。



藤井裕行さん 藤井裕行著

六甲ウィメンズハウス建設に向けて

2024年6月入居開始を目標として、現在、内部工事を進めております。来年3月まで内部工事が終わり、5月には家具や電気製品の納受を行う予定です。2024年1月より内部壁塗り作業をDIYで行う予定です。その際には皆様のご協力をお願いすることになると思います。引き続きみなさまのご関心とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

定期利用 グループ・教室のご案内

- ◆からむい会(絵更紗) 第2・4木曜日・後0～4:00
連絡先・小塚 078-731-3694
- ◆すぎなコーラス 月曜日・前10～12:00
連絡先・大谷 078-861-0338
- ◆神戸女声合唱団 金曜日・前10～12:00
連絡先・谷山 078-783-8665
- ◆創作アップリケ 第2・4月・金曜日・前10～12:00
第2・4金曜日・後1～3:00
柏原先生 078-821-4632
- ◆ノイエカンマーコール(混声コーラス) 第1・3・4土曜日・後5:30～9:00
連絡先・西山:080-5704-5406
- ◆ヨガ体操 火曜日・前10:00～12:00
廣瀬先生 078-851-8851
- ◆全珠連会員・熊内そろばん六甲教室 火・後3～7:00、土・後2～5:00
奥野先生 078-241-1095
- ◆テコンドーアカデミー 武哲館道場 毎週金曜日・後7～9:00
妹尾先生 070-1046-1575
- ◆実践空手道場稽撰会 毎週月曜日・後4～9:00
藤本先生 078-842-5669
- ◆すずめの学校(ニューヨークタイムズ紙を読む会) 第1・3金曜日 前10:00～12:00
連絡先・三田 090-7092-6903
- ◆前田書道会 第1・3火曜日・前9～後3:00
前田先生 078-385-1650
- ◆Rokko kids English Club 木・金 幼稚園クラス・親子クラス
山本先生 078-585-9328
- ◆東神戸トーストマスターズクラブ 第4土曜日 後1～5:00
連絡先・高橋 090-8160-2389
- ◆崑曲勉強会 第3日曜日 後1～5:00
連絡先・村田 078-806-8243
- ◆神戸フィラデルフィア教会 聖書の会 日曜日・前10～後1:00
連絡先 078-871-9192
- ◆公文阪急六甲駅前書写教室 水曜日・後3:30～8:00、土曜日・前9～後3:00
高田先生 080-4485-7877
- ◆居空間RoCoCo 火・水・木
連絡先 070-5346-6550
- ◆親子で手しごと『いいねっご』 第2土曜日・前9時～12時
連絡先・桑田 090-7755-0807
- ◆ハーモニースマイル 第1・3水曜前10～12時
第2・3・4金曜後1:30～3:30
松本先生080-5353-4135

お問合せやお申込は、各グループ・教室に直接ご連絡ください。

※当センターへの寄附金は、①所得控除または②税額控除が受けることができます。賛助会費、六甲奨学基金募金の両方に適用されます。詳しくはセンターにお問い合わせください。

賛助金・六甲ウィメンズハウス募金

2023.8.26~11.30(敬称略・単位円)

Table with 4 columns of names and donation amounts. Includes names like すぎなコーラス, 松本京子, 田中宏明, etc. Total amount: 753,000円.

賛助金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法 郵便振替 (01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)

六甲奨学基金

2023.8.26~11.30(敬称略・単位円)

Table with 4 columns of names and donation amounts. Includes names like 小城智子, 小牧明子, 崔相鐵, etc. Total amount: 167,000円.

六甲奨学基金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法 郵便振替 (01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)

毎月募金会計 24,000円(千円:金早雪、高仁宝、信長正義、信長たか子、飛田雄一、三千円:白川豊)
古本市による協力 422,305円 天野郡霽チャリティ陶芸作品展による協力 17,100円
総計 630,405円 以上感謝をもって領収いたしました。

セミナーの記録

2023.9.1~11.30

食料環境セミナー

9月16日「タネを守り、学校給食をオーガニックに」山田正彦さん
10月21日「タネを採り続ける丹波篠山での暮らし」酒井菊代さん
11月18日「アジアのオーガニックの現状と日本のオーガニックの未来」福井佑実子さん

昼初級2 毎週金曜日 鄭京淑さん
応用 毎週金曜日午前 林賢宜さん

林賢宜さんの韓国料理教室

9月2日貝柱とカニ入りのえび煎・湯スープ/10月7日キムパッ・卵スープ/11月4日野菜とえびのえごまドレッシング和え・牛肉入り大根スープ

第26期農塾

生産者のお話と農産物の販売
9月2日小林尚子さん/10月7日吉岡のぶみさん/11月4日大皿一寿さん

六甲奨学基金

10月23日~30日 天野郡霽陶芸作品展
日本語サロン 毎週月・土曜日
古本市常設開催

ろっこうおーがにつく市

非営利団体くらしの中のおーがにつく(共催)
毎週土曜日 野菜他の販売と交流会
10月28日 六甲おーがにつく食堂

土曜ティーサロン

9月9日「4ヶ国の旅人」ソルベイ・カリナ・ノードウォールさん/10月7日「ペルーの歩き方」日比野純一さん/11月4日「ミャンマーの歩き方」KHIN YADANAR MONさん

朝鮮史セミナー

10月17日「趙世熙「こびとが打ち上げた小さなボール」との出会い」斎藤真理子さん

その他のセミナー・行事

9月2日大逆事件を明らかにする兵庫の会主催講演会「伊藤野枝を偲んで」
9月27日関東大震災から100年を迎えて「知られざる「悲しみと怒りの手話」～自警団によって惨殺された「ろうあ者」たち～」藤井裕行さん

朝鮮語・韓国語講座

夜初級1 毎週火曜日 尹智香さん
夜上級 毎週木曜日 尹智香さん

10月12日「ワタシタチハニンゲンダ!」神戸上映会

11月10日~12月1日(全4回)ダイバーシティ研究所主催「外国人のための『生活の漢字』」教室(協力)

11月17日六甲ウィメンズハウスシンポジウム「困難を抱える女性におうちを～先駆者に聞く「新しい居住支援」～@神戸市教育会館(共催)

11月18日高作先生と学ぶ会「辺野古訴訟・最高裁判決の批判的検討」高作正博さん

11月21日はんてんの会「在日中国人と天皇制」徐翠珍さん&映画「1985年花であること」上映会(共催)

11月26日神戸YWCA PeaceBridge主催「音楽をとらして平和を考える会」(協力)

RoCoCoクリスマスフェア

11/24~27毎年恒例のRoCoCoクリスマスフェアが1Fサロン室で開催され、今年もたくさんの素敵な作品が並びました。作家さんは30名を超えるそうです。開店と同時に賑わっていました。



11.24 RoCoCoクリスマスフェア

古本市開催中

センター本館3Fロビーで六甲奨学基金のための古本市を常設開催しています。昨年1月~11月末までに380万円をこえる売上となりました。みなさまのご協力のおかげです。ありがとうございます。本は随時募集しております。今後ともご協力お願いいたします。